

東大まちづくり大学院 都市デザイン演習（まちづくり演習第2）  
2019 春

パブリックライフ／パブリックスペース スタジオ  
— 観察をベースとした公共空間の診断と改善の提案 —

■担当

中島直人・泉山壘威  
鈴木俊治（芝浦工業大学／ハーツ環境デザイン）・高松誠治（スペースシンタックス・ジャパン）

■期間

2019年4月6日～6月1日  
毎週土曜日3限～5限（13時～18時10分）全6回

■対象

まちづくり大学院修士1年  
（一グループは5名程度で構成、合計4グループを予定）

■課題

「公共空間としての駅前広場のリノベーション」

駅前広場に関して、以下のような作業を行った上で、

- 1) 現在の広場の空間形態や使われ方を観察調査によって把握する
- 2) 現在の広場の空間形態や使われ方を規定する制度的要因（法制度や管理運営体制）や設計意図を把握する  
これから目指すべき駅前広場のありかた（使われ方、空間像など）を設定し、そのありかたを実現するための制度的課題の解決、空間改善アイデアを提案する。

■狙い

- ・都市空間を生み出す制度的要因についての知見を深める。
- ・都市デザイン、都市計画の基礎としての都市空間と人間行動の関係性について知見を深める。
- ・都市空間における人間行動を記録、分析、表現するための観察に基づく基本的な技術や視点を身に着ける。
- ・具体的なまち、公共空間においてデータに基づいた課題の抽出、改善の提案という一連の計画・デザインの流れを体験する。
- ・近年、歩行者空間化されつつある駅前広場におけるアクティビティの可能性を検討する。

■対象地（予定）

- ・JR山手線の特定の駅の駅前広場およびその周辺の公共空間
  - 1 秋葉原駅前秋葉原公園
  - 2 大塚駅南口駅前広場（TRAM パル大塚）
  - 3 上野駅近く上野袴腰広場
  - 4 品川駅港南口駅前広場
  - 5 駒込駅北口染井吉野桜記念公園

■スケジュール

4月6日（土）

第1回 解題レクチャー

- ・課題説明（中島）
- ・レクチャー（鈴木・高松・泉山）
- ・グループ分け
- ・プレ調査計画立案

4月13日（土）

第2回 プレ調査

- ・プレ調査実施（仮説構築）

4月20日(土)

第3回 中間発表

- ・中間発表
- ・本調査計画立案

4月27日(土) ※必ずしもこの日に実施しなくてもよい。

第4回 本調査

- ・本調査実施

5月11日(土)

第5回 エスキスチェック

- ・ショートレクチャー(鈴木)
- ・本調査のまとめ
- ・最終発表に向けた発表計画

5月25日(土)

第6回 エスキスチェック

- ・ショートレクチャー(高松)
- ・補足調査の実施
- ・最終発表に向けた準備

6月1日(土)

第7回 最終発表

- ・最終発表
- ・全体ディスカッション

■成績評価

基本的に最終成果物の出来栄で判定するが、途中段階での参加度合も考慮に入れる。

■主な参考文献

- ・ヤン・ゲール+ビアギッテ・スヴァア(鈴木俊治・高松誠治・武田重昭・中島直人訳)(2016)『パブリックライフ学入門』、鹿島出版会
- ・プロジェクト・フォー・パブリックスペース(鈴木俊治他訳)、『オープンスペースを魅力的にする』、学芸出版社、2005年
- ・『賑わいづくり施策発見マニュアル』、国総研都市施設研究室、2014年